



石原橋下の釣人 Fishing under the Ishihara bridge ...

© photo by Isao Yoshida

会長あいさつ

第五十七代会長 田 辺 實



飯能ロータリークラブ第57代会長としてご挨拶申し上げます。

RI会長ホルガー・クナーク氏のテーマは「ロータリーは機会の扉を開く」です。「可能性をつかむには様々なアプローチの扉があります。機会の到来の時行動してこそ道は開きます。多様性を重んじ持続可能な良い変化を目指すロータリーは無数の機会への招待です」と説明しています。

第2570地区相原茂吉ガバナーのテーマは「友達をつくろう」です。積極的にロータリーの扉を開き一緒に活動し、そして出来るだけ多くの友達を、すなわち価値観を共有する仲間を一人でも二人でもふやして欲しいと言う事です。

飯能ロータリークラブのテーマは「我等のロータリー」としました。RI会長ホルガー・クナーク氏、第2570地区相原茂吉ガバナーのテーマを基本に、飯能ロータリークラブが、未来に力強く「機会の扉を開き」「友達をつくる」事、それにより共有する価値観の下にロータリーの仲間が集まり固い友情でつながり多様性を重んじ持続可能な良い変化を目指すクラブは無数の機会への扉やロータリーへの扉を積極的に開き、価値観（誠実・多様性・寛容・友情・平和の大切さ）を共有する仲間を増やし未来へつなげる一歩としましょう。それが「我等のロータリー」なのです。その為に3つの目標に向かって行動します。

- ① 楽しく意義のある例会にします。
職業上の発想の交換、友情を深め自己改善を図る例会にしてロータリーを楽しみます。
- ② 職業を通して奉仕活動をします。
事業において高潔さと高い倫理基準をもって行動し、役立つ、価値ある職業を通して奉仕の心を育みます。
- ③ 仲間づくりをします。
会員の友情を深め、連帯感を育み、自己の職業を通して奉仕活動をする事により地域の人々に広く理解を深め、会員の行動姿勢をみて、共鳴する人々で志を共にする職業人の仲間づくりをします。

目標達成に向け例会取消休会に祝日週が含まれる場合を取り入れ年間36回の例会にします。又、年会費を22,000円減額します。例会形式を10人テーブルから4人テーブルに変更し、毎回テーブルごとに会員3分間スピーチを行います。

会員の皆様の御理解と御協力をいただき「我等のロータリー」を築きたいと思っております。どうぞよろしくお願い致します。

任期を終了して

第五十六代会長 土屋 崇



2019～20年度の飯能ロータリークラブ会長としての任期を終了するにあたりご挨拶申し上げます。

今年度の国際ロータリー会長は「ロータリーは世界をつなぐ」というテーマを掲げられ、2570地区では地区スローガンを「つなげる：未来へつなぐ、組織の未来へ、個人の未来へ」とされました。

当飯能ロータリークラブは昨年創立55周年を迎えましたが、歴代会長・会員中心となり築かれた歴史と伝統は脈々と引き継がれてきた事でもあり、私は「人と人との繋がり」「心と心の結びつき」をスローガンとして掲げました。上期においては、ガバナー公式訪問を始め順調に活動が遂行されましたが、下期においては新型コロナウイルス感染症の世界的な感染拡大が発生し、年初より日本国内でも感染者が急増し、政府の緊急事態宣言の発出と感染予防対策上、外出の自粛・人との接触自粛などで4月第2週から6月初めまでの約2か月間休会せざるを得ませんでした。

今年度に掲げた具体的な5つの方針・施策について振り返ってみますと、

1. 55周年記念事業として、記念誌の発刊、U-10サッカー大会を行うことが出来ました。しかし記念式典・視賀会の開催は残念ながら中止せざるを得ませんでした。今年度の最大の行事だっただけに実行委員会の皆様、私を含め多くの会員が無念の思いであったと思います。
2. ガバナー輩出の下地作りについては前島田秀和会長年度より検討されてきましたが、2570地区との結びつきが大事なことだと思い、地区への出向者5名の方には数年続けて出向して頂く事で地区との密接なつながり、次のステップの足がかりとなり得ると思ひ引き続き出向をお願いしました。
3. 公共イメージの向上につきましては、ロータリー財団の補助金を利用したU-10サッカー大会の開催が行政関係、参加した子ども達や保護者、市民の皆様にもロータリーの存在・活動の一端を知って頂けたと思います。また、55周年記念事業の一環として飯能市に50万円を、商工会議所にプロジェクターを寄贈したこともメディアを通じてアピール出来たことも良かったと思います。
4. 会員増強については、純増1名をかかげましたが、4名の退会、4名の入会にとどまりました。下期に新入会員の勧誘をもっと積極的にできれば良かったと思いましたがこれも新型コロナウイルス感染症のために人との接触を控えなければならなかった事が悔やまれます。
5. 退会防止については、例会での会員卓話の依頼、日帰りの親睦旅行や日曜日の親睦ゴルフの開催をお願いしました。これも下期に予定されていた日高クラブとの合同ゴルフコンペ、親睦旅行の行事を中止せざるを得ませんでした。しかしながら、55周年記念事業は「皆で祝おう」という合言葉の下にクラブの活性化、結束に繋がる結果になったと思います。

会長として至らない点が多々有りましたがここまで来れたのも偏に会員の皆様のご指導・ご協力の賜物です。とりわけ、役員の方、各委員会の委員長の皆さん、幹事の中里忠夫会員、SAAの前島宏之会員、事務局の西川さん、西脇さんには大変お世話になりました。深甚なる感謝を申し上げます。退任のご挨拶と致します。